

中央発條株式会社

証券コード：5992

CHUHATSU
CHUO SPRING CO., LTD.

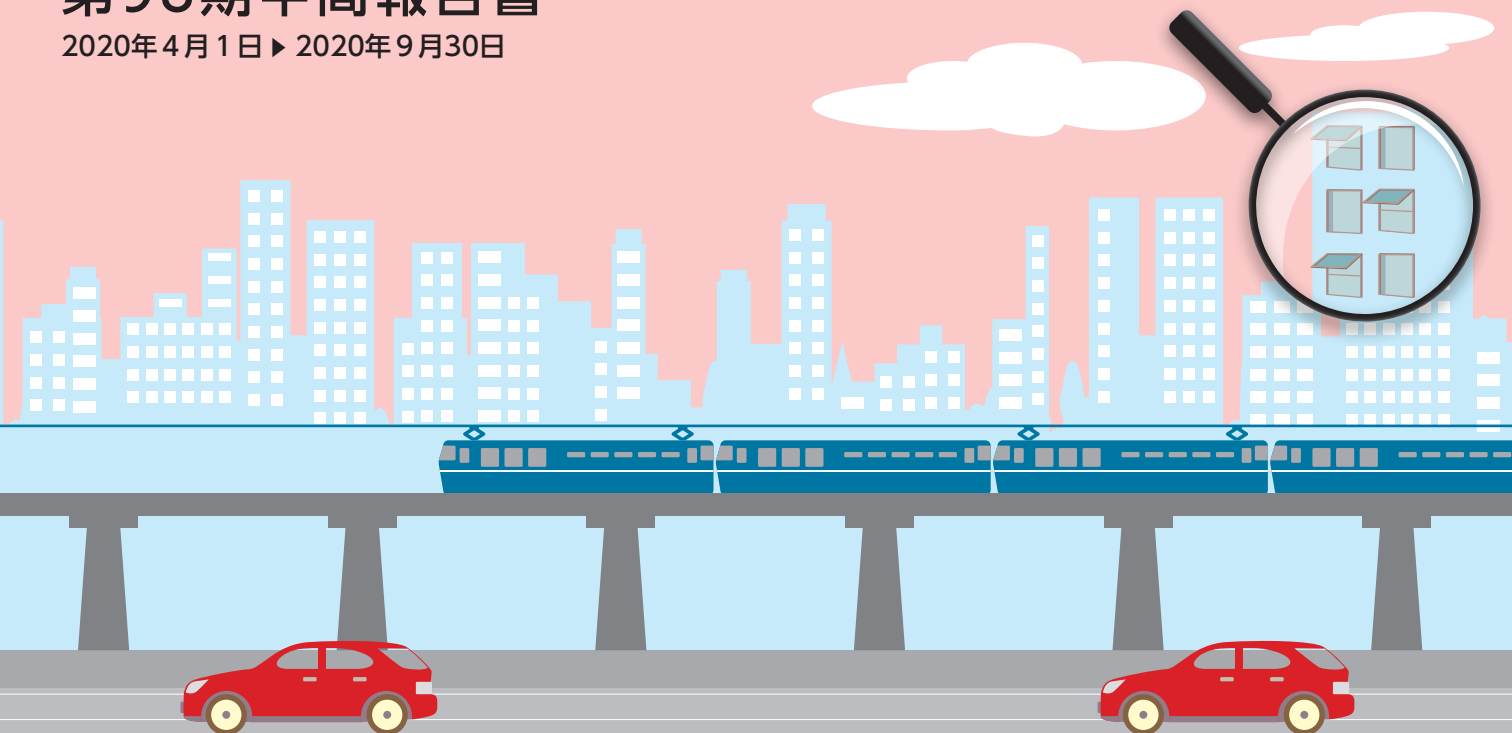


CONNECT WITH THE NEXT.

「その技術で次なるステージへ」

第98期中間報告書

2020年4月1日 ▶ 2020年9月30日



技術と情熱が創り出す価値ある商品を未来へ世界へ



代表取締役社長 **高江 暁**

株主の皆様には、平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

当社第98期中間期(2020年4月1日から2020年9月30日まで)の事業の概況につきましてご報告申し上げます。

2020年11月

当中間期の概況

当第2四半期連結累計期間における売上高は、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大により、工場の操業停止や生産調整が相次ぎ、自動車の生産および販売台数が前年に比べて大幅な落ち込みとなりました。このような状況の中、売上の減少に追従するため、全社を挙げて総費用の低減活動に取り組み、収益を確保できる体質づくりを進めてまいりました。

更に、将来に向けた持続的発展のためには、既存製品における競争力強化を堅実に進めるとともに、グローバル市場での要請に確実に応えられる魅力ある新製品の開発と、グローバル企業としての製品競争力の強化が不可欠であり、その対応のため自動車の電動化や自動運転技術に対応した高品質・高付加価値な製品を創出し、また、生産技術面では日本国内で確立されたコンパクトで高効率な設備・生産工程を海外拠点に展開することで、品質と生産性を両立させた質の高いものづくりの実現に取り組んでいます。

海外事業につきましては、新たな部品・材料の調達

先を開拓し、生産拠点の最適化をこれまで以上に進めることで、グローバルでの製品供給体制を強化し、グループでの収益力向上を目指します。

営業面では、今年度、長年受注活動を進めてまいりました鉄道向けのビジネスに参入を果たしました。引き続き、建築向け製品等も含め、非自動車分野での拡販を精力的に進めてまいります。

当社グループを取り巻く経営環境は依然として厳しい状況が続くものと予想されますが、第3四半期以降は、当社グループ主要取引先の自動車生産台数が当初計画に近づく見通しであります。リーマンショックを超えるこのピンチをチャンスにとらえ、現在取り組み中のポストコロナを見据えた収益改善策を更に進めるとともに、将来を担う人材育成にも注力し、着実に足元を固めながら、夢と希望とやりがいがあふれる未来へ飛躍いたします。

株主の皆様におかれましては、今後も一層のご支援とご指導を賜りますようお願い申し上げます。

ビジネス拡大への取り組み

競争力強化への取り組み

中央発條ではビジネス拡大に向けて、グループ丸となって拡販活動を進めています。競争力強化の取り組みの一例を紹介いたします。

○ 新規事業分野への拡大

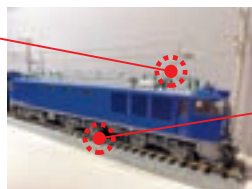
当社のばねが、列車の運行に欠かせない集電と軌道という両分野において使用されるという新たな時代を迎えつつあります。鉄道車両の上部に設置される集電装置パンタグラフに内蔵される大型引きばねは既に量産納入を開始し、鉄道の線路をまくら木に固定するレールクリップは、試験敷設ながら既に営業路線に敷設され、評価試験段階にあります。鉄道分野において、より多くのお客様に気に入っていただき、お使いいただけるよう事業推進してまいります。

また2020年9月1日には鉄道に加え、非自動車分野以外の新規事業への取り組み強化のため、「BR新規事業開発室」が発足いたしました。

今後も自動車分野だけでなく、非自動車分野への拡販を進めてまいります。



パンタグラフ用大型引きばね



レールクリップ

○ シャシばねビジネスの拡大に向けて

2017年より行ってきたシャシばねビジネス拡販活動がようやく実を結び、2020年7月にタイのCHUHATSU (THAILAND) CO.,LTD.でシャシばねの量産が開始されました。また2021年には北米のCHUHATSU NORTH AMERICA, INC.においてもシャシばねの生産が開始される予定です。

中国におきましては、既存拠点をフル活用した積極的なビジネス展開により、新たな現地生産車のシャシばねを拡大受注いたしました。

これを弾みに、中発グループがOne Teamとなり、グローバル市場において更なる売上アップに向け邁進いたします。



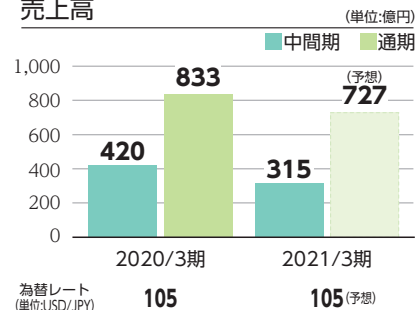
CHUHATSU (THAILAND) CO.,LTD. シャシばね製造ライン



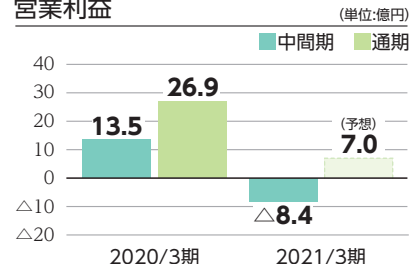
(同左) 量産開始式典にて

連結決算ハイライト

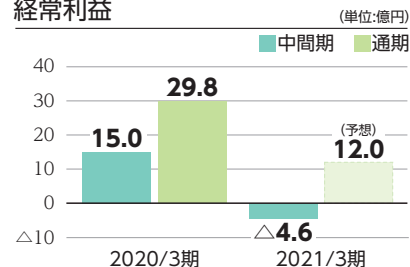
売上高



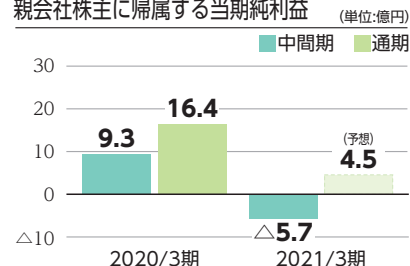
営業利益



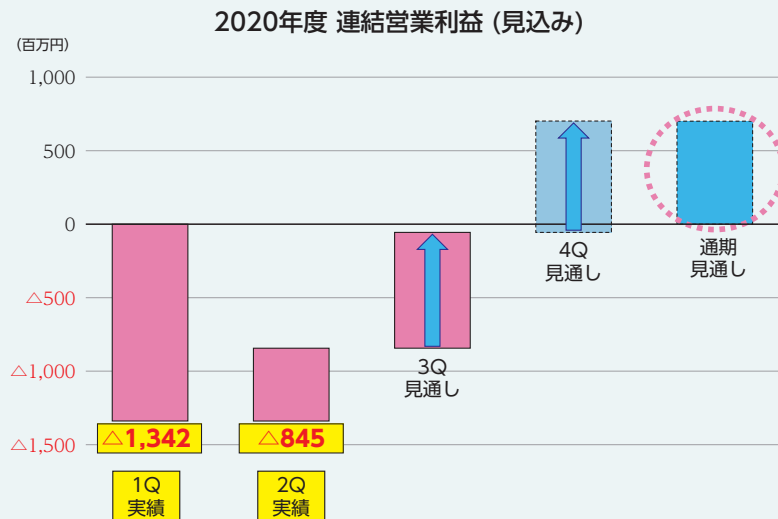
経常利益



親会社株主に帰属する当期純利益



通期の見通し



当連結会計年度前半においては、新型コロナウイルス世界的拡大に伴い、工場の操業停止や生産調整が相次ぎ、自動車の生産および販売台数が前年に比べて大幅な落ち込みとなりました。年度後半からは、当社グループ主要取引先の自動車生産台数が当初計画に近づく見通しであり、生産および販売が回復してくると予想しております。

当社グループにおきましては、今後リーマンショックを超えるこのピンチをチャンスととらえ、従来固定的にとらえていたオフィス業務等も低減の対象とし、売上高に合わせ費用の変動を可能にしていまいります。

トピックス — 新型コロナウイルス感染症対策への取り組み —

会社内での取り組み

入門者全員に検温を実施し、37.5℃以上の発熱者は入門を禁止すること、またテレワークや会議体統廃合を推奨し、飛沫防止パーテーションを設置することで「3つの密」を回避するなどの予防対策を実施しております。



対策商品

当社のグループ会社である中発販売では、新型コロナウイルス感染拡大防止対策商品を幾つか販売しております。

不特定多数の方が出入りする公共施設や企業等に採用いただいております。



▲ソーシャルディスタンス パリアリアル



▲温度検知デバイス(AI顔認証付)▲

2021年3月期 第2四半期

■ 連結決算

連結貸借対照表

(単位：百万円)

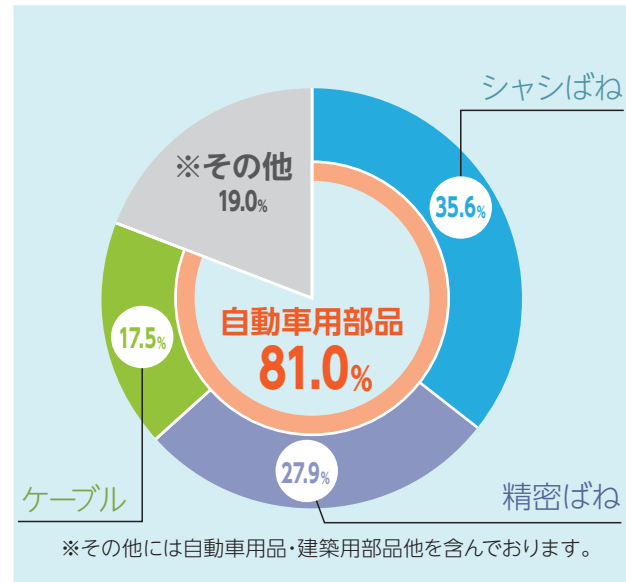
科 目	当第2四半期末 2020.9.30現在	前期末 2020.3.31現在
〔資産の部〕		
流動資産	33,014	34,167
固定資産	49,515	48,069
資産合計	82,530	82,236
〔負債の部〕		
流動負債	14,249	16,064
固定負債	10,518	8,636
負債合計	24,768	24,700
〔純資産の部〕		
株主資本	46,136	47,050
その他の包括利益累計額	7,930	6,867
非支配株主持分	3,694	3,617
純資産合計	57,761	57,535
負債純資産合計	82,530	82,236

連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	当第2四半期累計 2020.4.1～2020.9.30	前第2四半期累計 2019.4.1～2019.9.30
売上高	31,518	42,059
売上原価	28,490	36,560
売上総利益	3,027	5,499
販売費及び一般管理費	3,873	4,144
営業利益又は営業損失（△）	△845	1,354
営業外収益	712	364
営業外費用	330	210
経常利益又は経常損失（△）	△462	1,508
特別損失	59	0
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	△522	1,508
法人税、住民税及び事業税	208	329
法人税等調整額	△230	103
四半期純利益又は四半期純損失（△）	△500	1,075
非支配株主に帰属する四半期純利益	73	139
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失（△）	△573	936

製品別売上構成

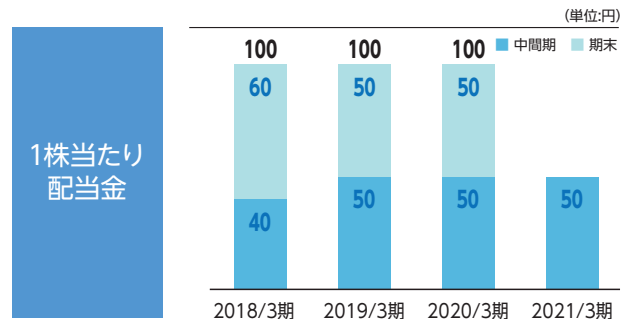
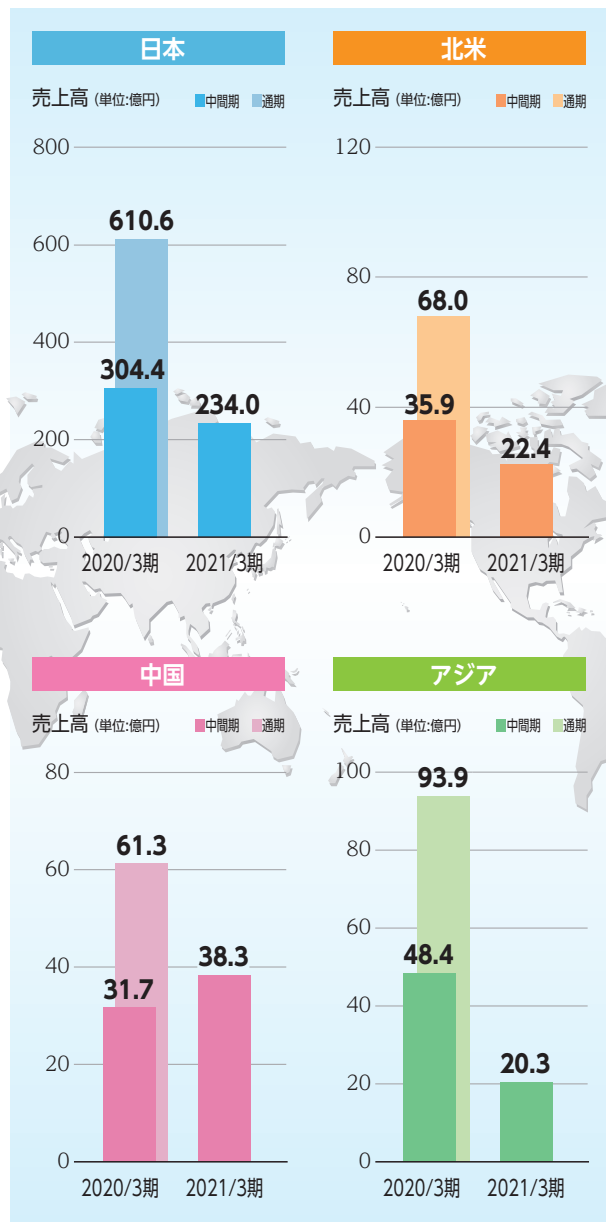


連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	当第2四半期累計 2020.4.1～2020.9.30	前第2四半期累計 2019.4.1～2019.9.30
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,274	1,887
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,676	△1,874
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,259	△1,095
現金及び現金同等物に係る換算差額	30	△114
現金及び現金同等物の増減額	△660	△1,197
現金及び現金同等物の期首残高	9,409	10,053
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,749	8,856

■ 地域別セグメント情報(連結)



(注) 2017年10月1日付で普通株式10株を1株に併合しており、株式併合後の基準で換算した1株当たり配当金を記載しております。

ホームページのご案内

当社に関するより詳細な情報については、当社ホームページをご覧ください。企業活動や製品に関する情報など、幅広く情報を提供しております。またIR情報ページには、業績ハイライトやこれまでの決算短信を、CSR情報ページには環境への取り組みなども掲載しております。

<https://www.chkk.co.jp/>



▲トップページ



▲IR情報ページ



▲CSR情報ページ

会社情報

(2020年9月30日現在)

会社概要

設立	1948年12月25日
資本金	108億3,720万円
従業員数	連結：3,996名 単独：1,464名
製品区分	自動車用部品（シャシばね、精密ばね、ケーブル）、 その他（自動車用品・建築用部品他）
本社所在地	〒458-8505 名古屋市緑区鳴海町字上汐田68番地 電話（052）623-1111（総合案内）
主要な事業所	本社工場（名古屋市緑区） 碧南工場（愛知県碧南市） 三好工場（愛知県みよし市） 藤岡工場（愛知県豊田市） 技術センター（愛知県みよし市） 東日本営業所（栃木県塩谷郡高根沢町） 西日本営業所（大阪府吹田市）

役員

※ 取締役社長	高江 曉
※ 取締役副社長	小出 健太
専務取締役	柴 晴彦
専務取締役	稲垣 昭弘
● 取締役	三浦 俊宏
● 取締役	安田 加奈
常勤監査役	山口 孝之
◆ 監査役	山本 秀樹
◆ 監査役	近藤 禎人
◆ 監査役	中村 元志
常務執行役員	鈴木 聡
執行役員	米倉 浩司
執行役員	宮原 浩一
執行役員	間瀬 実
執行役員	北浦 啓一
執行役員	宮田 征典

（注）※代表取締役 ●社外取締役 ◆社外監査役

関係会社

国内 10社

愛知県	中発運輸株式会社 株式会社東郷ケーブル 株式会社セプラス 中発精工株式会社 中発販売株式会社 株式会社リーレックス
岐阜県	株式会社岐阜中発
静岡県	株式会社エフ・イー・シーチェーン
長崎県	株式会社長崎中発
青森県	中発テクノ株式会社

海外 10社

米国	CHUHATSU NORTH AMERICA, INC.
台湾	中發工業股份有限公司
タイ	CHUHATSU (THAILAND) CO., LTD.
インドネシア	P.T. CHUHATSU INDONESIA
中国	天津中発華冠機械有限公司 天津中星汽車零部件有限公司 天津隆星彈簧有限公司 昆山中發六和機械有限公司 昆山中和彈簧有限公司 孝感中發六和汽車零部件有限公司

株式情報

(2020年9月30日現在)

株式の状況

発行可能株式総数	20,000,000 株
発行済株式総数	6,385,599 株
株主数	3,485 名

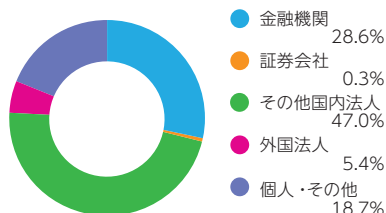
大株主

株主名	持株数(千株)	出資比率(%)
トヨタ自動車株式会社	1,539	24.67
愛知製鋼株式会社	478	7.67
株式会社三菱UFJ銀行	308	4.95
株式会社三井住友銀行	304	4.88
中発取引先持株会	302	4.84
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	242	3.88
東京海上日動火災保険株式会社	227	3.63
株式会社日本カストディ銀行(信託口)(注2)	166	2.67
あいおいニッセイ同和損害保険株式会社	131	2.10
中発従業員持株会	123	1.97

(注1) 出資比率は、自己株式(144,753株)を控除して計算しております。

(注2) 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社は、2020年7月27日付でJTCホールディングス株式会社、資産管理サービス信託銀行株式会社と合併し株式会社日本カストディ銀行となりました。

所有者別 株式分布状況



株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月
基準日	定時株主総会の議決権 3月31日 期末配当 3月31日 中間配当 9月30日
公告方法	電子公告 ※ 決算公告に代えて、貸借対照表および損益計算書は、金融商品取引法に基づく有価証券報告書等の開示書類に関する電子開示システム(EDINET)にて開示しております。
株主名簿管理人(連絡先)	三菱UFJ信託銀行株式会社 〒137-8081 東京都府中市日鋼町1-1 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-232-711 (通話料無料)
単元株式数	100株
証券コード	5992
上場取引所	東京証券取引所、名古屋証券取引所

中央発條株式会社

